

商工經濟日誌

内國の部

九月十七日(月) ▲全國主要都市實業組合聯合會對同業

組合制度改善案希望要項決定

十八日(火) ▲經濟審議會第一回總會田中會長挨拶產業

振興上緊要施設要綱其他諮問案附議

▲東拓及朝鮮殖産銀行朝鮮內貸付利率不動産八分八厘

以上其他(五厘乃至二厘)引下廿日實施

二十日(木) ▲中旬貿易出超參百四拾四萬壹千圓(前年

比較千六拾五萬圓減)

▲紡績聯合會委員會一月以降六月迄現行操短率据置

(二割三分)

二十四日(月) ▲乘合自動車監督權鐵道省移管決定

二十五日(火) ▲東京經濟研究會金輸出解禁問題討論掘越

善重郎氏即行論主張

▲農林省發表八月末政府所有米二百四十九萬九千九百

四十五石

二十八日(金) ▲秩父宮雍仁親王殿下子爵松平保男氏姪勢

津子姬御結婚

二十九日(土) ▲經濟審議會第二回總會三諮問各特別委員

(自昭和三年九月十六日
至昭和三年十二月三十一日)

會設定

十月一日(月) ▲陪審法實施

二日(火) ▲農林省第一回米收穫豫想發表六千二百二十

九萬六千二百六十石(前年比較八十萬九千四百六十

割合一分三厘減)

三日(水) ▲正金銀行爲替建值對米四十五ドル八分五

(八分一)引下

▲大信銀行本日以降休業

四日(木) ▲東京米穀市場買方金三店亂手振前場二節

以降立會中止

五日(金) ▲東京商工會議所役員會金輸出解禁討論速

行主張決定

八日(月) ▲東京手形交換所經濟調查會金輸出解禁審

議即時斷行意見一致

十日(水) ▲中旬貿易出超九百貳拾四萬壹千圓(前年

比較九百五拾五萬參千圓減)

十二日(金) ▲正金爲替建值四十五ドル四分三(八分一)

引上

▲東米取引所中先兩限立會開始當限は臨時増徴徴收の

第四卷 第一號

ため十五日後場迄引續休會

十五日(月) ▲大藏省議値下決定

十六日(火) ▲肥料管理法に付商工農林兩當局意見一
致成案發表

▲商工省東京砂糖取引所設立認可(開市期十二月一日)

十八日(木) ▲正金銀行爲替建値對米四十五ドル八分七

(八分一)引上

十九日(金) ▲正金爲替建値對米四十六ドル八分一(四

分一)引上

▲大藏省第十一回復興貯蓄債券壹千萬圓賣出決定

二十日(土) ▲中旬貿易出超參百八拾八萬參千餘圓(前

年比較七百參拾五萬七千圓減)

▲日本航空輸送會社創立總會役員決定

二十二日(月) ▲大藏省明年度豫算査定案各省に内示總額

拾七億參千貳百九拾參萬餘圓内新規要求承認額壹億

七百八拾萬餘圓(要求の二割九分)

▲東京及大阪手形交換所總會金輸出解禁即行決議案可

決

▲正金爲替建値對米四十六ドル八分三(四分一)引上

二十三日(火) ▲正金爲替建値對米四十七ドル(八分五)引

上

二十四日(水) ▲帝國農會總會

(九八) 九八

▲正金爲替建値對米四十六ドル四分三(四分一)引下

二十五日(木) ▲日本商工會議所常議員會金輸出禁止解除

速行建議案可決

二十六日(金) ▲株式市場金輸出解禁財界影響懸念諸株暴

落(東株拾參圓安)

▲正金爲替建値對米四十七ドル二分一(四分三)引上

二十七日(土) ▲正金爲替建値對米四十七ドル(二分一)引

下

二十九日(月) ▲大藏省東洋拓殖會社外債成立條件發表

▲農林省發表本年度麥收穫高大麥七百六十萬五千餘石、

(前年比較五厘增)小麥六百卅八萬九千餘石(五分五

厘增)裸麥七百十二萬六千餘石(二分六厘減)合計二

千百十二萬七百六十五石(十八萬一千七十一石割合

九厘增)

▲正金爲替建値對米四十七ドル四分一(四分一)引上

三十日(火) ▲紡織聯合會委員會明年一月以降操短細則

決定

三十一日(水) ▲下旬貿易出超百貳拾五萬六千圓(前年比

較八百七萬五千圓減)

▲正金爲替建値對米四十七ドル(四分一)引下

十一月一日(木) ▲正金爲替建値對米四十六ドル八分五

(八分三)引下

二 (日)金 ▲日本製紙聯合會幹事會印刷紙及模造紙六

分操短十二月以降撤廢決定

▲正金爲替建值對米四十六ドル四分三(八分一)引上

六 (日)火 ▲天皇皇后兩陛下宮城出御午前八時東京驛

御發

▲正金爲替建值對米四十六ドル二分一(四分一)引下

九 (日)金 ▲上旬貿易出超參百六拾壹萬參千圓(前年

比較百九拾五萬六千圓減)

十 (日)土 ▲今上天皇皇后兩陛下即位式舉行勅語を賜

ふ

十二 (日)月 ▲農林省發表第二回米收穫豫想高(十月末

日現在)五千九百七十萬一千四百廿石(前回比較百五

十九萬四千八百四十石減前年實收比較二百四十萬三

千八十三石減)

二十 (日)火 ▲中旬貿易出超六拾壹萬貳千圓(前年比較

百拾七萬四千圓減)

▲興銀興業債券三井三菱第一安田四銀行引受參千萬圓

發行內定

▲海運業組合聯盟創立總會

二十一 (日)水 ▲セメント聯合會第二委員會十二一二以上

三箇月間操短率平均三割(約二分七厘增)擴張決定

二十三 (日)金 ▲正金爲替建值對米四十六ドル四分一(八

分一)引下

▲臺灣明治大日本三製糖會社貳拾壹圓五拾錢以下不賣

協定

二十九 (日)木 ▲正金爲替建值對米四十六ドル(八分一)引

下

三十 (日)金 ▲下旬貿易入超千五拾萬壹千圓(前年同期

出超五百貳拾九萬六千圓)

▲農林省內地米五十萬石買換發表

▲製粉三社協定備段二等粉參圓七拾錢(五錢方)引上

十二月四 (日)火 ▲日華萬歲兩生命保險重役會合併案可決

▲大日本人造肥料株主總會北陸人造肥料合併案可決

十 (日)月 ▲上旬貿易入超七百七拾貳萬九千圓(前年

比較貳百貳拾六萬參千圓增)

十二 (日)水 ▲正金銀行爲替建值對米四十五ドル四分三

(四分一)引下

十五 (日)土 ▲正金爲替建值對米四十五ドル八分七(八

分一)引上

十七 (日)月 ▲正金銀行爲替建值對米四十六ドル(八分

一)引上

十八 (日)火 ▲關議地租及營業收益稅委讓原案可決

▲正金爲替建值對米四十六ドル八分一(八分一)引上

▲明年度各種砂糖割當及精製糖原料數量決定

第四卷 第一號

二十一日(金) ▲東京市會解散

▲經濟審議會總會國際收支均衡企圖施設方案答申案
(金輸出解禁要望)及商事及產業關係法規改正調査建議案兩原案可決

二十二日(土) ▲鐵道昭和四年以降十箇年間建設計畫決定

發表

二十四日(月) ▲第五十六帝國議會召集貴衆兩院成立

▲正金爲替建値對米四十五ドル八分七(八分一)引下

二十六日(水) ▲帝國議會開院式

▲三土藏相地租營業收益稅委讓稅制整理案內容說明書
發表

二十七日(木) ▲東京米商大阪堂島米穀大阪三品大阪棉花

東西砂糖各清算市場大納會

二十八日(金) ▲東西株式長期取引大納會

二十九日(土) ▲精糖會社砂糖供給組合設立決定調印

三十一日(月) ▲當日(繰越日)銀兌換券拾七億七千參百七

拾壹萬八千圓貸出九億壹千八百六拾七萬壹千圓

▲コール銀日物壹錢八厘に暴騰

外國の部

九月十七日(月) ▲インドタタ製鐵會社爭議十二日妥協

成立の旨入電

(100)100

二十日(木) ▲伊國フアシスト黨最高議會同會を政府最高機關に改定決議

二十二日(土) ▲ソビエツト政府自國貨チエロオネツツ・ルーナル領外搬出禁止

二十四日(月) ▲世界燃料會議開催(ロンドン)

三十日(日) ▲濠洲波止場人夫罷業終熄

十月二日(火) ▲上海郵政局員罷業開始

四日(木) ▲北平郵務工會對上海郵務工會同情罷業協議不參加決定

五日(金) ▲孟買紡績會社罷業解決六日再就業決定

八日(月) ▲シンガポール立法議會ゴム制限廢止法案可決

十六日(火) ▲トルコ政府南京政府承認

十八日(木) ▲日支交渉開始決定矢田總領事南京着蔣介石氏と會見

二十五日(木) ▲矢田對王兩氏交渉通商條約濟南漢口南京各事件意見一致連名聲明書發表

十一月一日(木) ▲支那國民政府中央銀行上海本店開業

日(火) ▲佛國ポアンカン、内閣總辭職

▲米國大統領改選執行

七日(水) ▲米國大統領選舉開票共和黨候補フーバー氏各州選出選舉委員總數五百卅一票中四百五十一票

獲得當選

十二日(月)

十四日(水)

萬アツセル

十五日(木)

引上

二十八日(水)

三十日(金)

十二月一日(土)

分方) 引下

▲天津及日會對商民間抗爭小康天津商店一齊閉業

▲北平及日會日支合辦中華滙業銀行紙幣通用拒絕兌換

請求者殺到

四

八

日(火)

日(木)

十三日(木)

引上

▲孟買紡績罷業終熄の旨入電

十五日(土)

十五萬英トン

▲米國農務省一九二八年度小麥收穫高發表各小麥五億

七千八百九十六萬四千アツセル春小麥三億二千三百

七十八萬五千アツセル合計九億二百七十四萬九千ア

ツセル(前年比較三千百五萬八千アツセル増)

十八日(火)

引上

二十八日(金)

▲東三省當局明廿九日政治組織改變及時天

白日旗掲揚決定

歐洲諸國金解禁實施期一覽表

別種價平	月 年 定 安	別 國
用採價平新	ダンリシ月十年二二九一 月三年五二九一用採	利 太 璦
上 同	定安上實事後以年三二九一	スコツエチ アキアヅロ
上 同	行發クルマンテンレ年三二九一 用採クルマスヒイラ新月十年四二九一	逸 獨
上 同	年四二九一至乃年二二九一	亞 西 露
復恢に價平舊	月四年四二九一	典 瑞
用採價平新	定安上實事月七年四二九一 定創ウヨギンベ月二十年五二九一	利 牙 匈
復恢に價平舊	月四年五二九一	利 吉 英
上 同	月四年五二九一	蘭 和
用採價平新	月十年六二九一	義 耳 白
上 同	月七年四二九一定安回一第 月十年七二九一定安回二第	蘭 波
復恢に價平舊	月一年七二九一	抹 丁
用採價平新	月二十年七二九一	利 太 伊
復恢に價平舊	月五年八二九一	威 諾
用採價平新	月五年八二九一	臚 希
上 同	月六年八二九一	西 蘭 佛
復恢に價平舊		西 瑞

各國金解禁の實例から見たる我國金解禁の影響(野村證券株式會社調査部)に依る